キャリイ／スーパーキャリイ

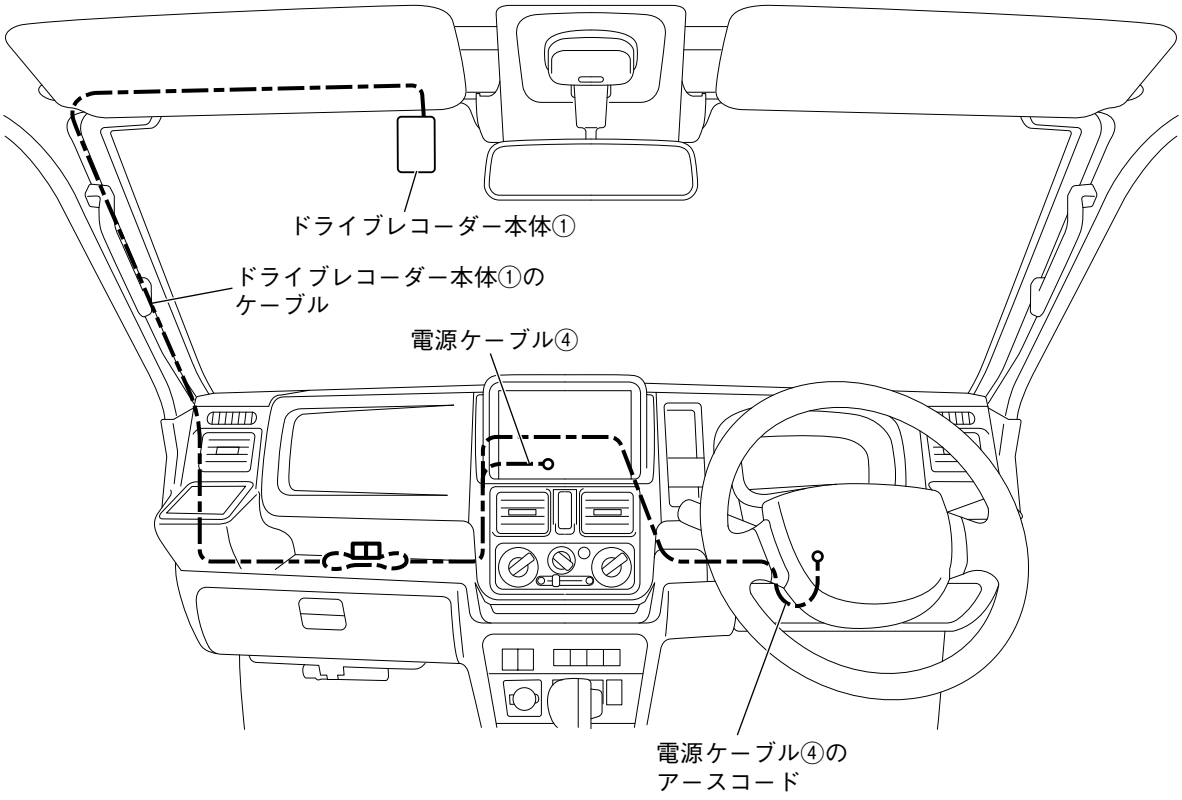
車種別取付要領

共通編の「共通取付要領」も合わせて参照ください。

アドバイス

キャリイとスーパーキャリイで異なる箇所については書き分けをしています。書き分けのない所は共通です。読み間違いのないようにしてください。

■ 取付概要図



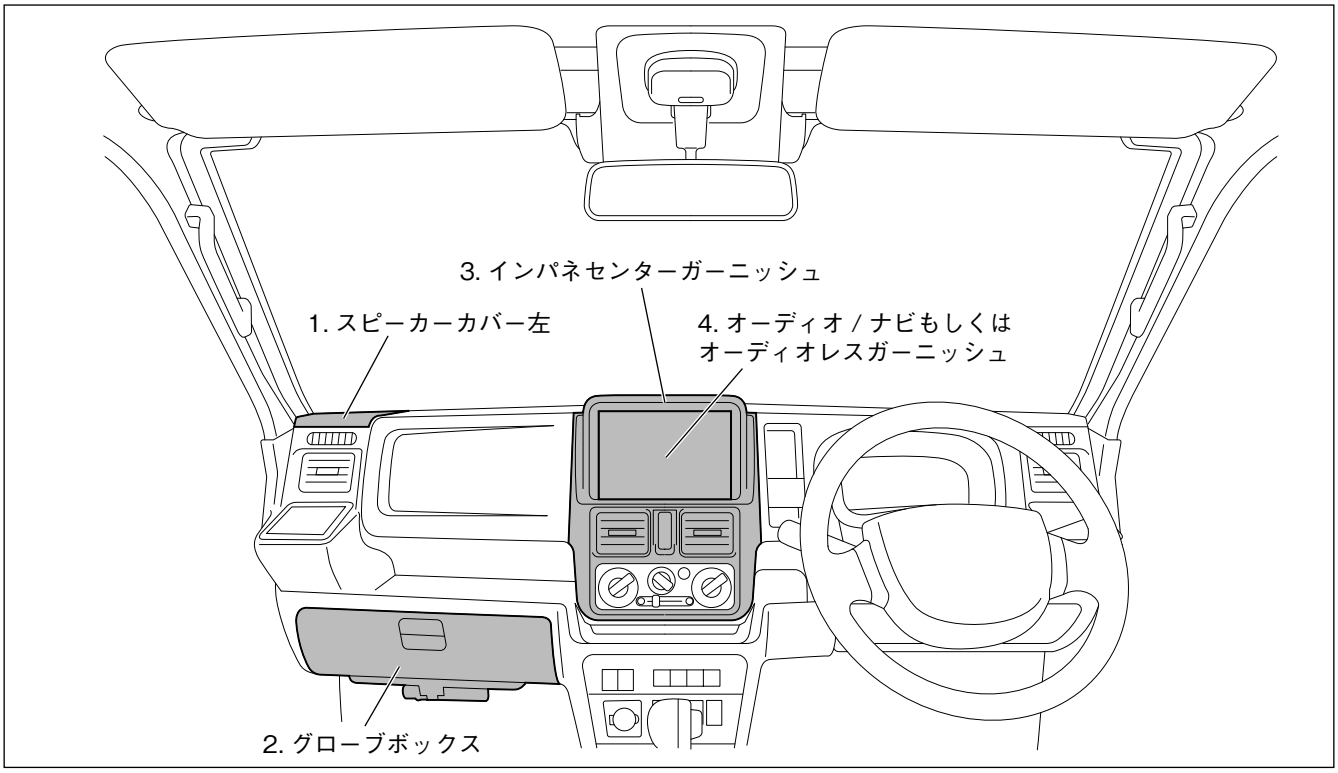
■ 車両部品の取り外し

図中の番号順に車両部品を取り外します。

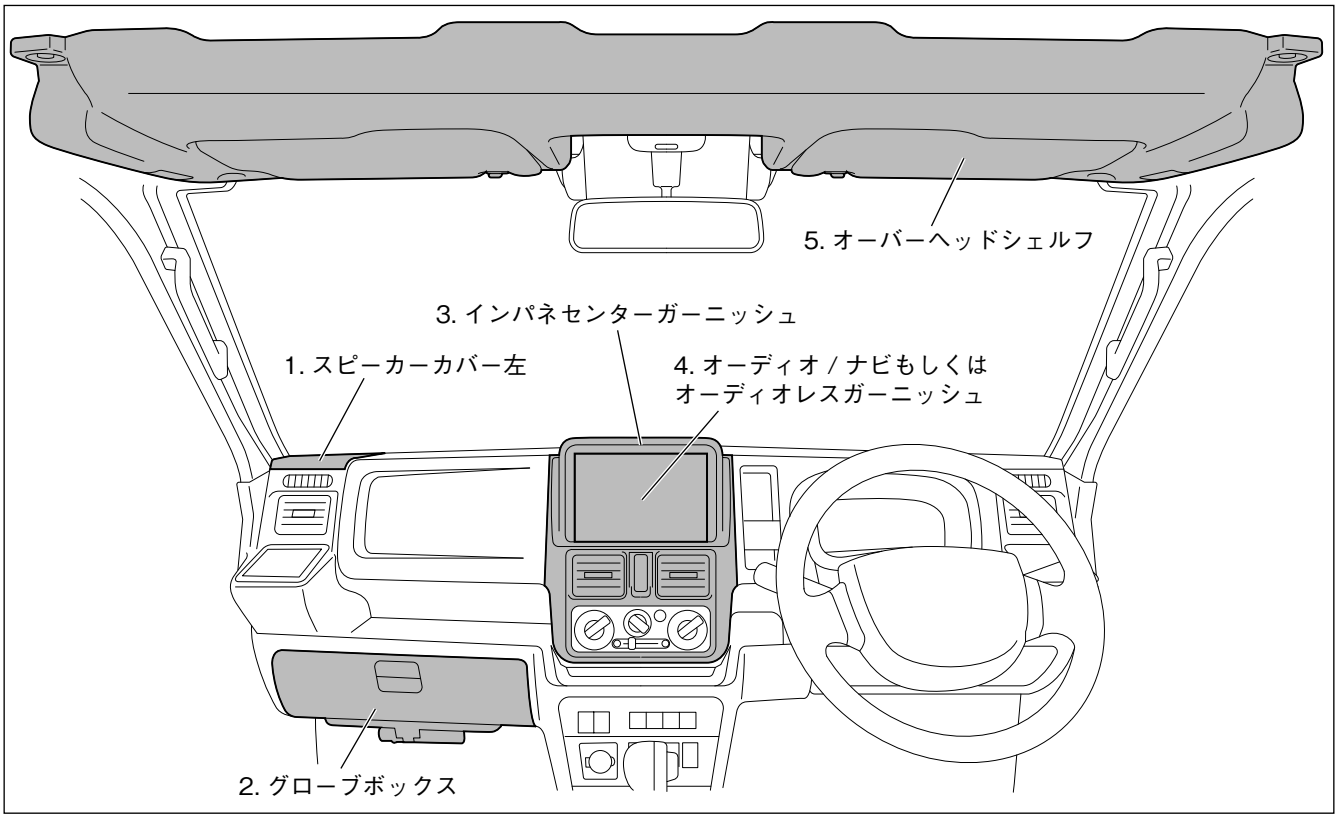
注 記

内装部品を傷付けないよう、養生テープなどで保護をしてから部品を取り外してください。

●キャリイの場合



●スーパーキャリイの場合

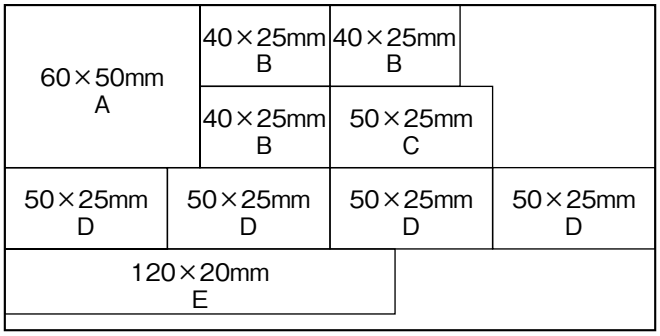


■ 取付前の準備

クッションテープの準備

●キャリイの場合

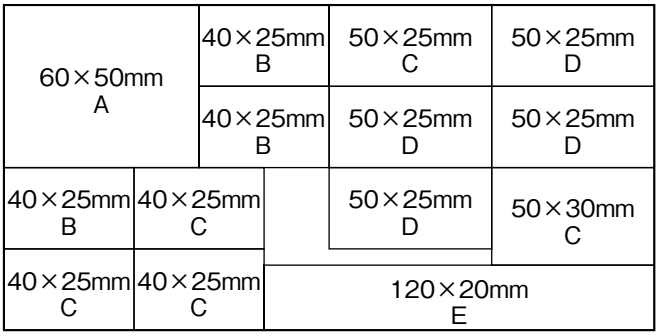
クッションテープ(200×100mm)⑫



クッションテープ⑫を左図のようにカットします。
A：コネクター接続部巻き付け用
B：ドライブレコーダー本体①のケーブル巻き付け用
C：ケーブル固定用
D：アースコード固定用
E：余長束ね用

●スーパーキャリイの場合

クッションテープ(200×100mm)⑫

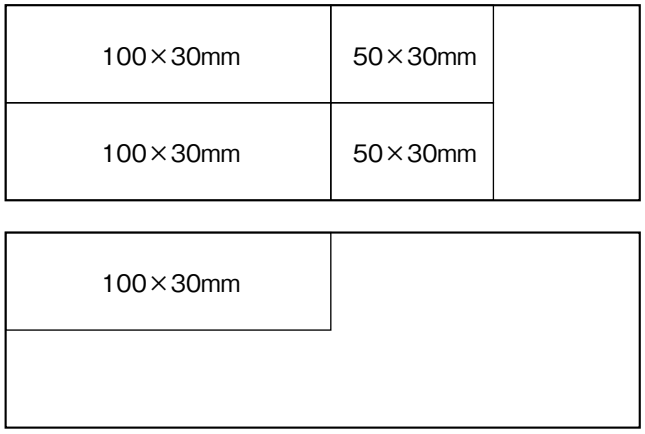


クッションテープ⑫を左図のようにカットします。
A：コネクター接続部巻き付け用
B：ドライブレコーダー本体①のケーブル巻き付け用
C：ケーブル固定用
D：アースコード固定用
E：余長束ね用

保護シートの準備

●キャリイの場合

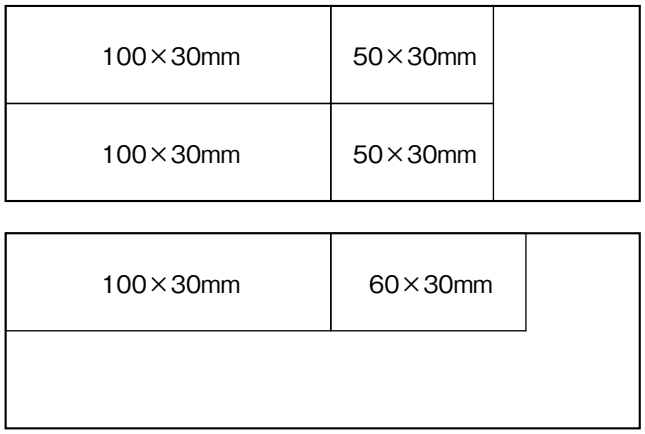
保護シート(195×60mm)⑬



保護シート⑬を左図のようにカットします。

●スーパーキャリイの場合

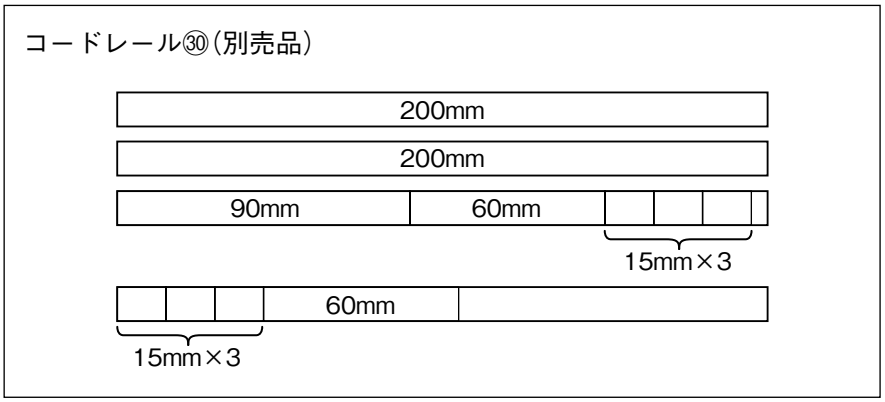
保護シート(195×60mm)⑬



保護シート⑬を左図のようにカットします。

コードレール（別売品）の準備

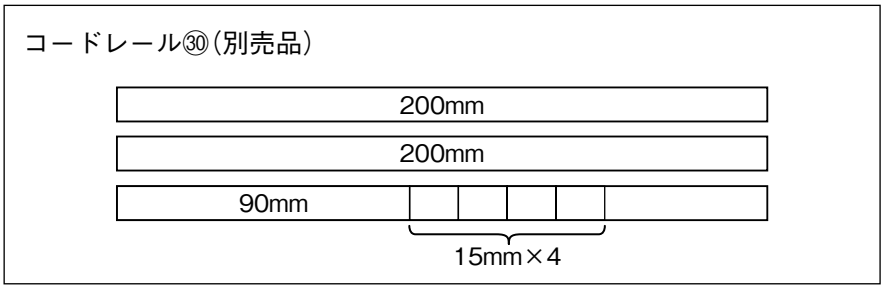
●キャリイの場合



コードレール㉚（別売品）を左図のようにカットします。

⚠注意
カット加工時は、耐切創手袋を着用してください。

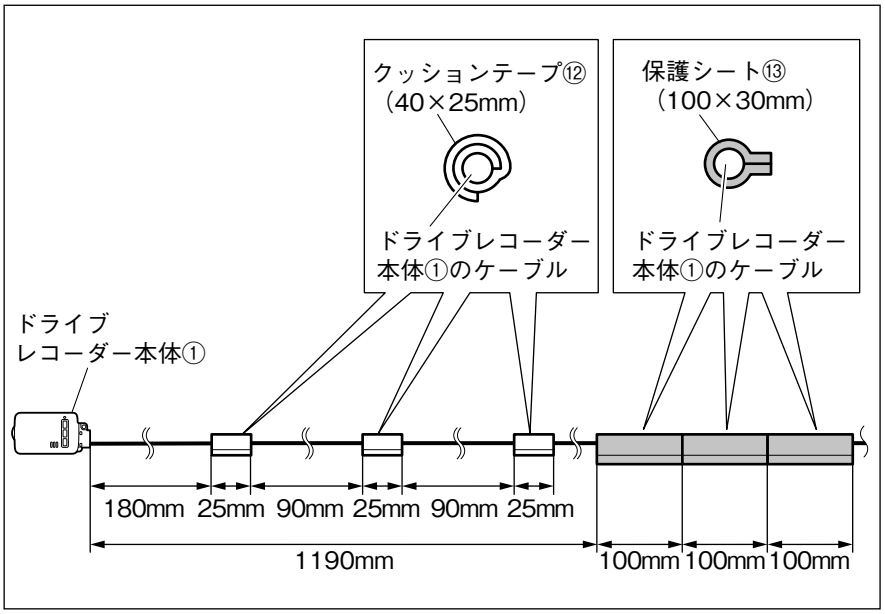
●スーパーキャリイの場合



コードレール㉚（別売品）を左図のようにカットします。

⚠注意
カット加工時は、耐切創手袋を着用してください。

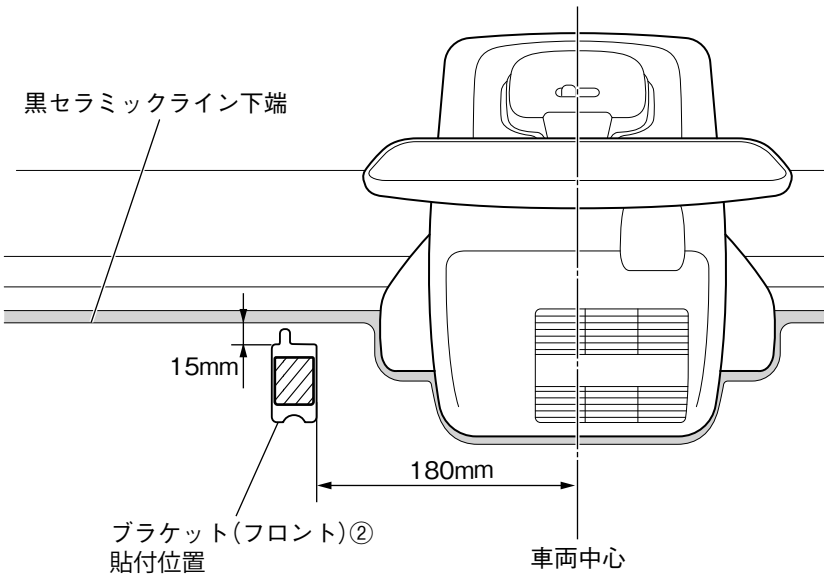
ドライブレコーダー本体のケーブルの準備



ドライブレコーダー本体①のケーブルにカットしたクッションテープ⑫および保護シート⑬を左図のように貼り付けます。

■ ドライブレコーダー本体貼付作業

ドライブレコーダー本体の貼り付けおよび角度調整



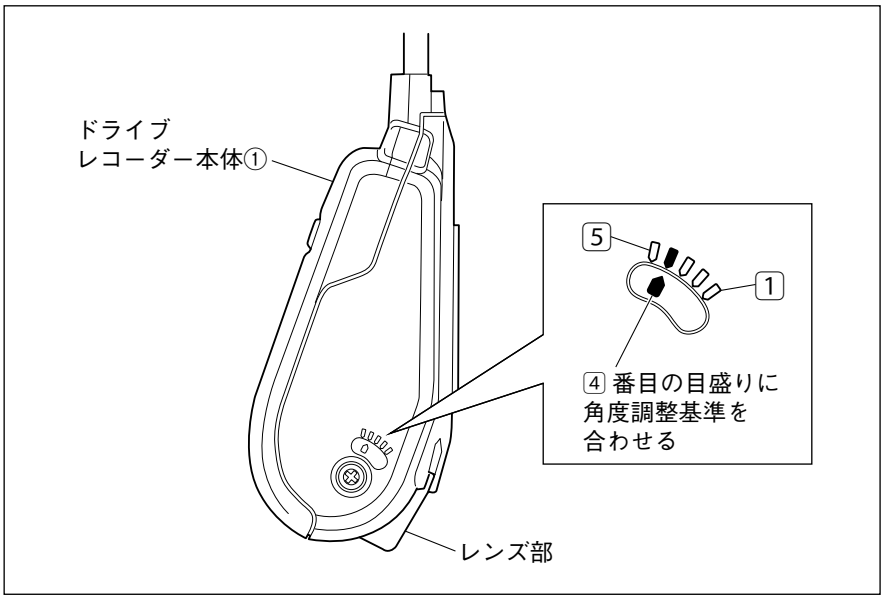
1. ブラケット（フロント）②をフロントガラス内側の左図位置に取り付けます。

注 記

- 取付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。
- 接着面に触れたり、ブラケットを取り付け直したりしないでください。
- 気温が低い時（15℃以下）は、取付面をドライヤーなどで温めてから取付作業を行ってください。

アドバイス

ドライブレコーダー本体①、ブラケット（フロント）②の取り付けの詳細は、共通編の「ドライブレコーダー本体の貼り付けおよび角度調整」を参照してください。



2. ドライブレコーダー本体①のレンズ部の角度を左図位置に固定します。

注記

- **カメラレンズ部の汚れや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。**
- **しっかりと固定され、がたつき等が無いことを確認してください。**

アドバイス

ドライブレコーダー本体①レンズ部の角度調整方法の詳細は、共通編の「ドライブレコーダー本体の貼り付けおよび角度調整」を参照してください。

3. ドライブレコーダー本体①をブラケット（フロント）②に取り付けます。
4. ドライブレコーダー本体①をネジ（M3 × 5.5mm）③で固定します。

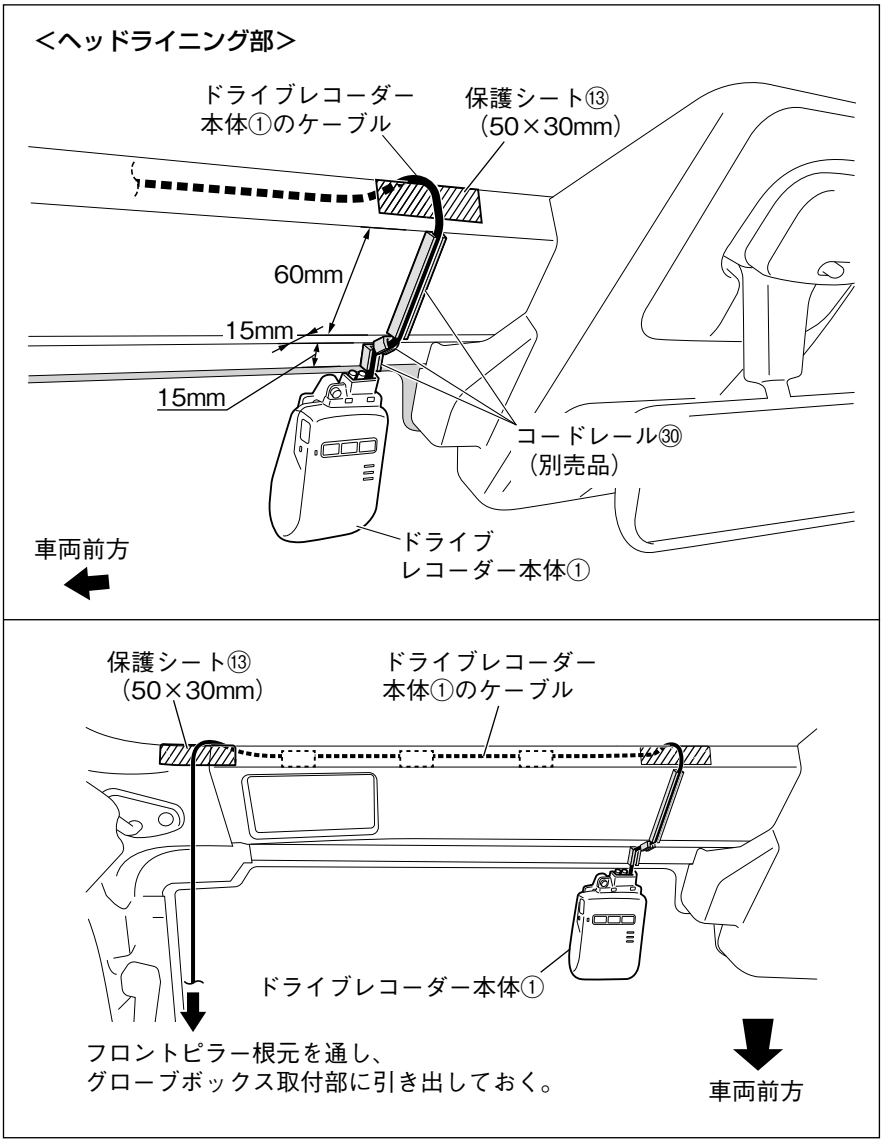
アドバイス

ドライブレコーダー本体①のネジ固定の詳細は、共通編の「ドライブレコーダー本体の貼り付けおよび角度調整」を参照してください。

■ 配線作業

ドライブレコーダー本体のケーブル配線

●キャリイの場合



1. 左図のようにコードレール㉚（別売品）を貼り付けます。（3箇 所：60mm、15mm、15mmにカットしたものを使用する）

注 記

- **コードレール㉚（別売品）の貼付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。**
- **気温が低いとき（15℃以下）は、コードレール㉚（別売品）の貼付面をドライヤーなどで温めてから貼り付けてください。**

2. ドライブレコーダー本体①のケーブルをコードレール㉚（別売品）内に収めて配線します。

注 記

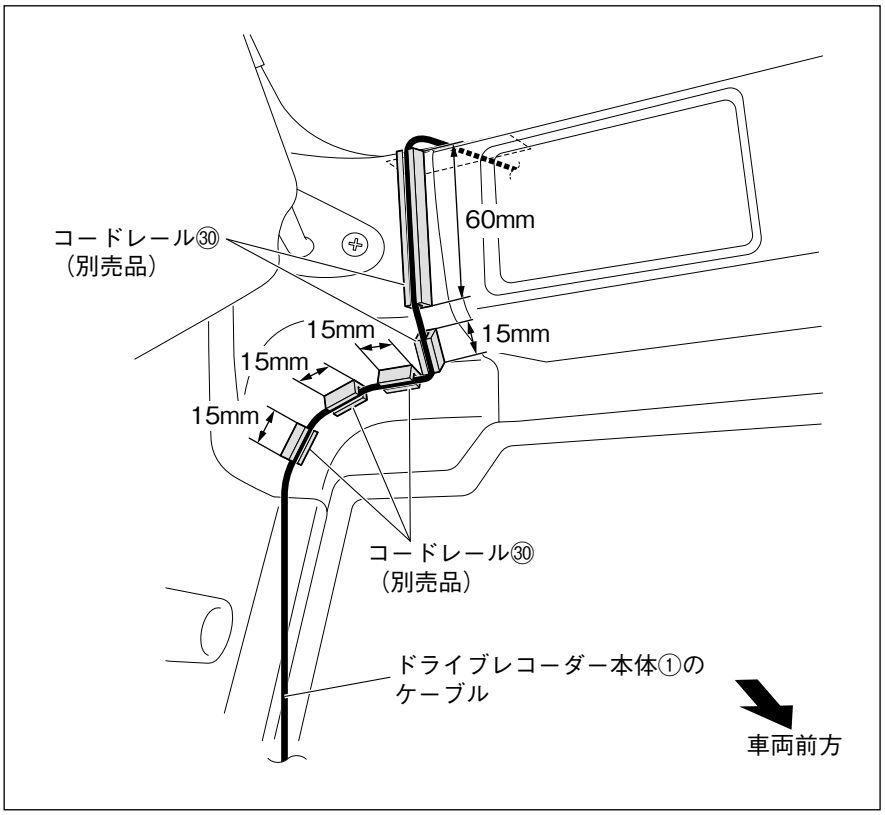
- **図示位置の板金エッジ部に保護シート⑬を貼り付けてください。**
- **保護シート⑬貼付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。**
  また寒い時は温めてから作業を行ってください。

3. ドライブレコーダー本体①のケーブルをヘッドライニング内に収めて配線します。

注 記

- **図示位置の板金エッジ部に保護シート⑬を貼り付けてください。**
- **保護シート⑬貼付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。**
  また寒い時は温めてから作業を行ってください。

4. ドライブレコーダー本体①のケーブルをフロントピラー根元を通してグローブボックス取付部へ引き出します。



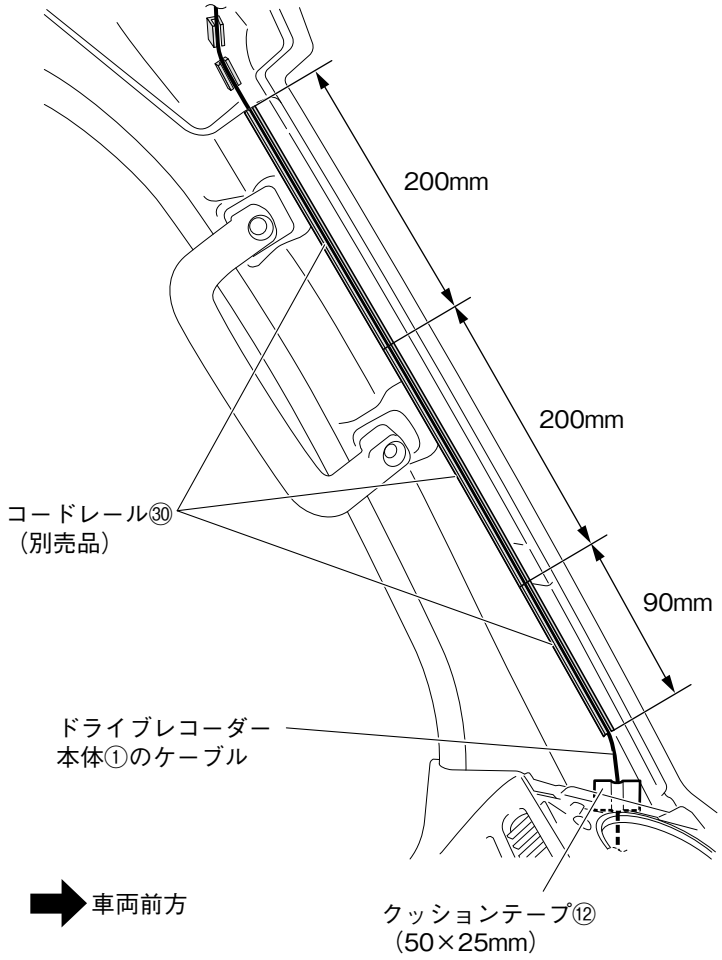
5. 左図のようにコードレール㉚（別売品）を貼り付けます。(5箇所：60mm、15mmにカットしたものを使用する)

注記

- **コードレール㉚（別売品）の貼付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。**
- **気温が低いとき(15℃以下)は、コードレール㉚（別売品）の貼付面をドライヤーなどで温めてから貼り付けてください。**

6. ヘッドライニングから引き出したドライブレコーダー本体①のケーブルを、コードレール㉚（別売品）に収めて配線します。

<左側フロントピラー部>



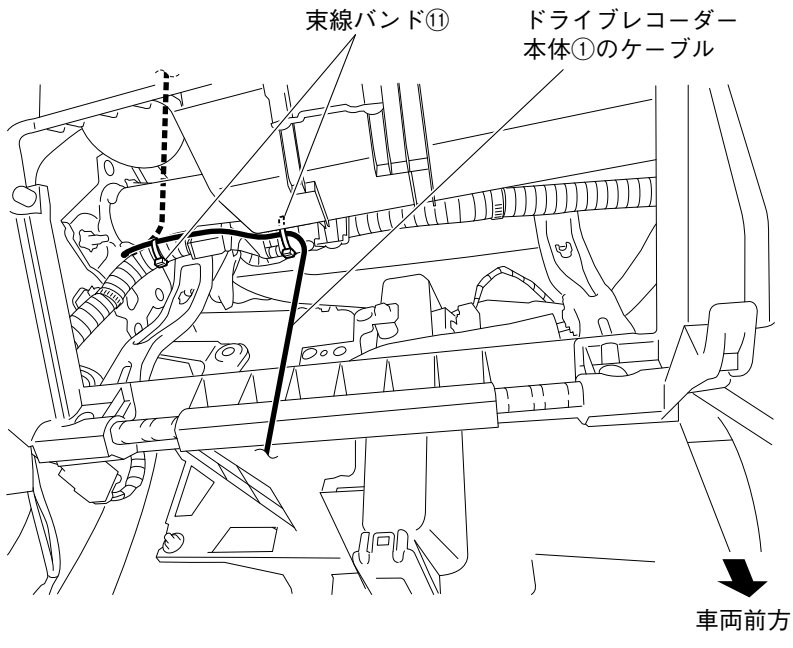
7. 左図のようにコードレール㉚（別売品）を貼り付けます。(3箇所：200mm、90mmにカットしたものを使用する)

注記

- **コードレール㉚（別売品）の貼付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。**
- **気温が低いとき(15℃以下)は、コードレール㉚（別売品）の貼付面をドライヤーなどで温めてから貼り付けてください。**

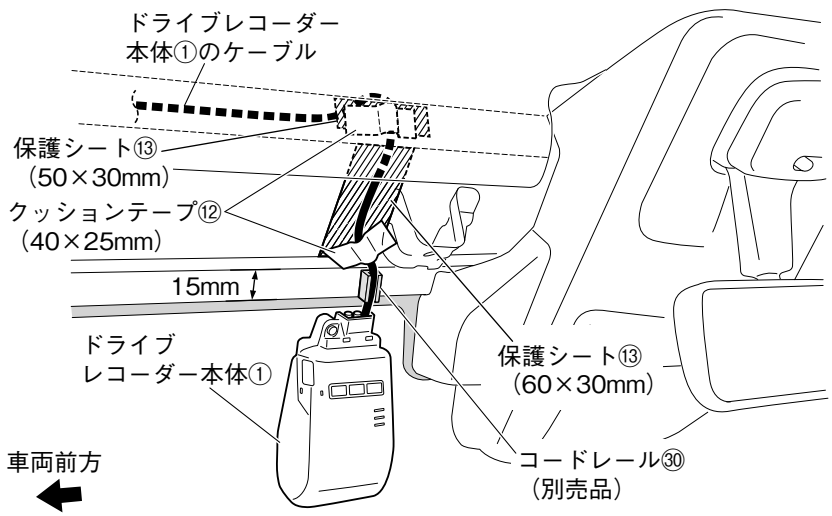
8. ドライブレコーダー本体①のケーブルをコードレール㉚（別売品）に収めて配線します。
9. ドライブレコーダー本体①のケーブルをクッションテープ⑫でフロントピラーに固定します。

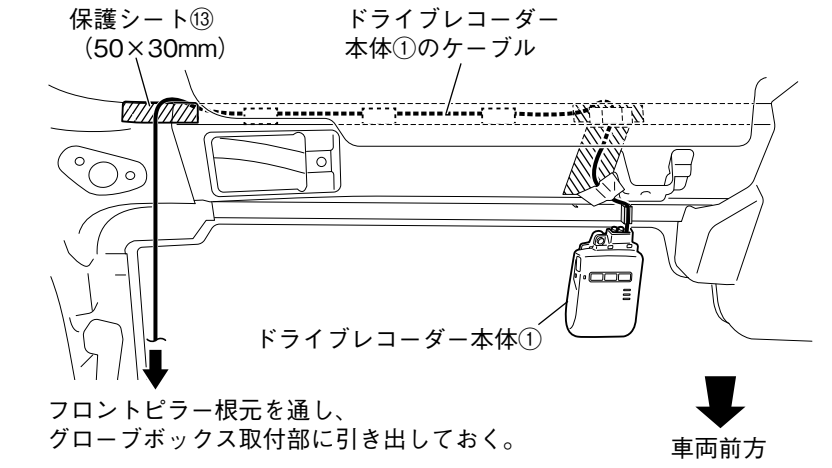
<グローブボックス取付部>



10. ドライブレコーダー本体①のケーブルをグローブボックス取付部まで配線し、束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

●スーパーキャリイの場合





1. 左図のようにコードレール㉚（別売品）を貼り付けます。（1箇所：15mmにカットしたものを使用する）

注記
- **コードレール㉚（別売品）の貼付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。**
- **気温が低いとき（15℃以下）は、コードレール㉚（別売品）の貼付面をドライヤーなどで温めてから貼り付けてください。**

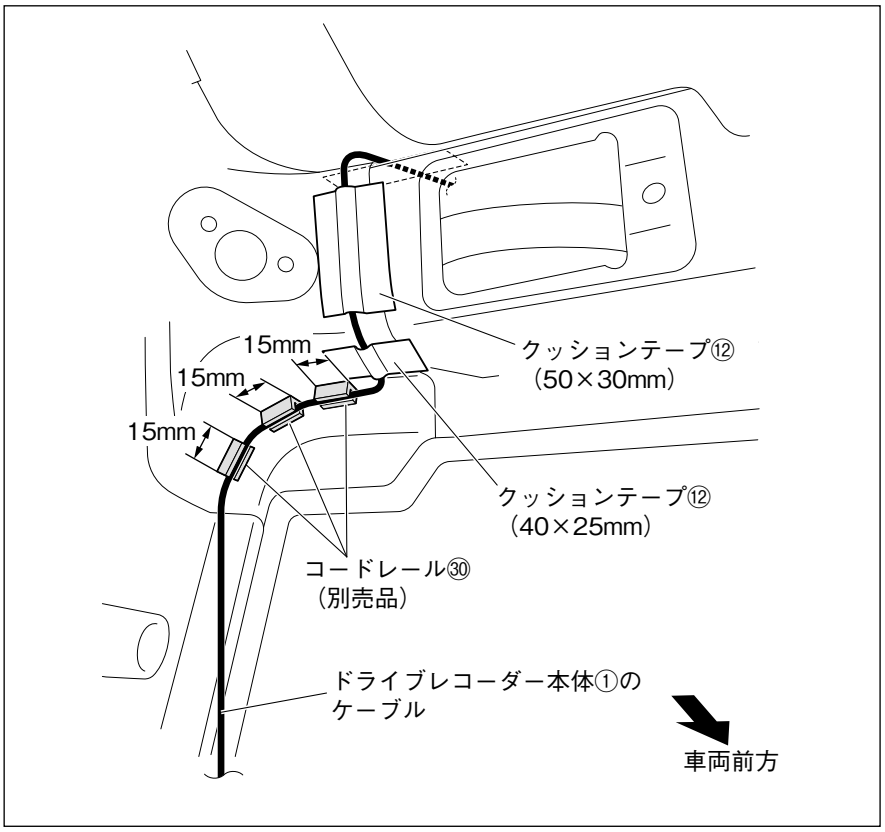
2. ドライブレコーダー本体①のケーブルをコードレール㉚（別売品）内に収め、クッションテープ⑫で固定しながら配線します。

注記
- **図示位置の板金エッジ部に保護シート⑬を貼り付けてください。**
- **保護シート⑬貼付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。**
  また寒い時は温めてから作業を行ってください。

3. ドライブレコーダー本体①のケーブルをルーフヘッドライニング内に収めて配線します。

注記
- **図示位置の板金エッジ部に保護シート⑬を貼り付けてください。**
- **保護シート⑬貼付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。**
  また寒い時は温めてから作業を行ってください。

4. ドライブレコーダー本体①のケーブルをフロントピラー根元を通してグローブボックス取付部へ引き出します。



5. 左図のようにコードレール㉚（別売品）を貼り付けます。(3箇所：15mm にカットしたものを使用する)

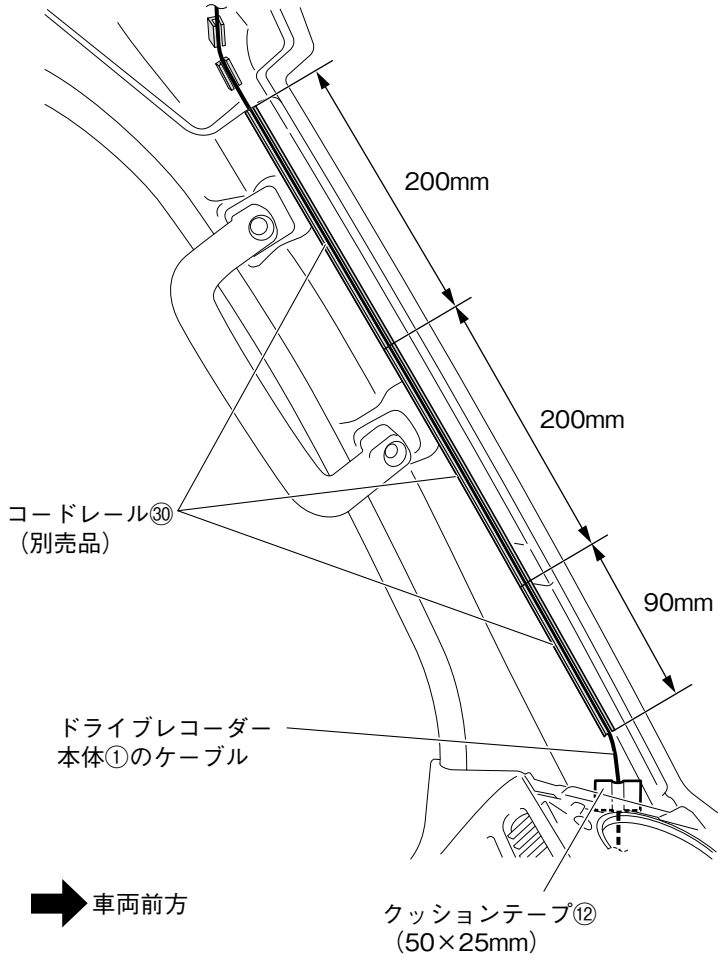
注 記

・コードレール㉚（別売品）の貼付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。

・気温が低いとき(15℃以下)は、コードレール㉚（別売品）の貼付面をドライヤーなどで温めてから貼り付けてください。

6. ヘッドライニングから引き出したドライブレコーダー本体①のケーブルを、クッションテープ⑫で固定しながらコードレール㉚（別売品）に収めて配線します。

<左側フロントピラー部>



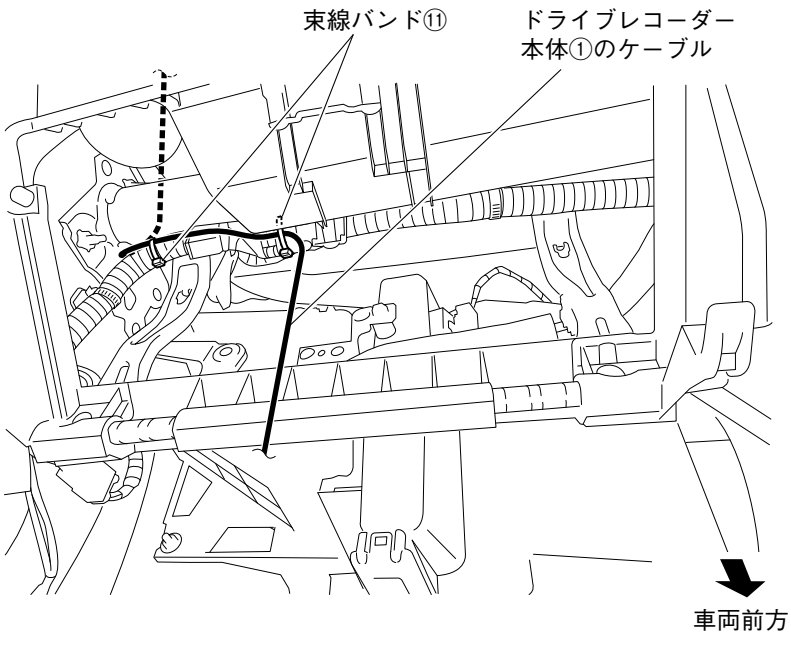
7. 左図のようにコードレール㉚（別売品）を貼り付けます。(3箇所：200mm、90mmにカットしたものを使用する)

注記

- **コードレール㉚（別売品）の貼付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。**
- **気温が低いとき(15℃以下)は、コードレール㉚（別売品）の貼付面をドライヤーなどで温めてから貼り付けてください。**

8. ドライブレコーダー本体①のケーブルをコードレール㉚（別売品）に収めて配線します。
9. ドライブレコーダー本体①のケーブルをクッションテープ⑫でフロントピラーに固定します。

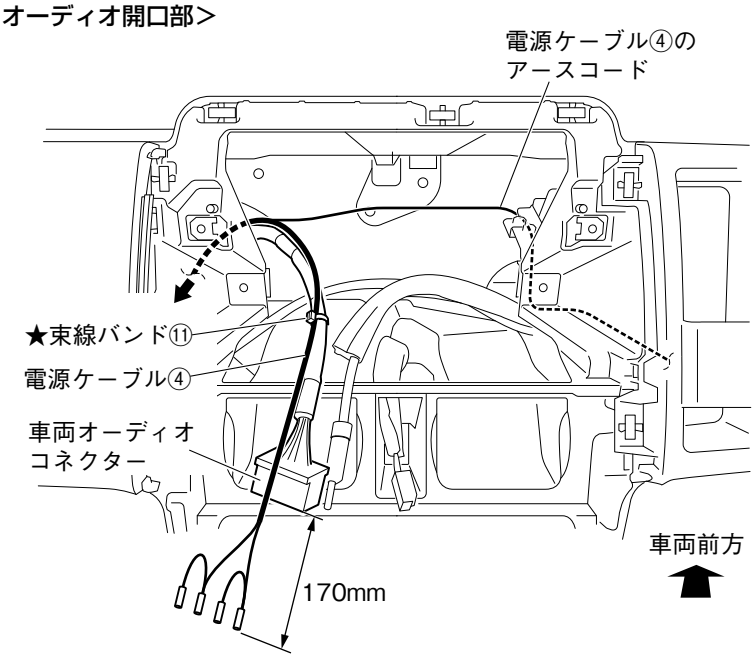
<グローブボックス取付部>



10. ドライブレコーダー本体①のケーブルをグローブボックス取付部まで配線し、束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

電源ケーブルの配線

＜オーディオ開口部＞



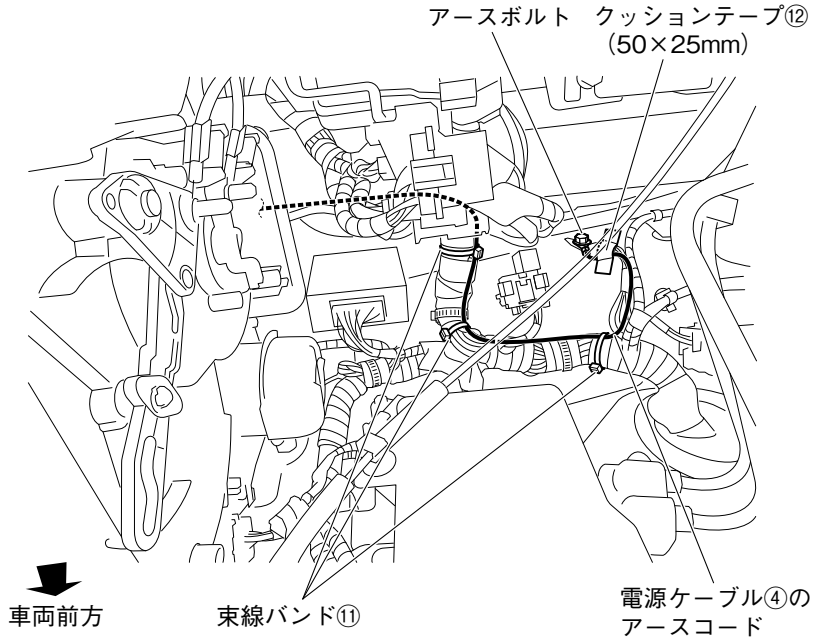
1. 電源ケーブル④をオーディオ開口部からグローブボックス取付部まで配線します。
2. オーディオ開口部の電源ケーブル④を図のように束線バンド⑪で固定します。

注 記

★部の束線バンド⑪は、電源ケーブル④のギボシ端子先端から車両オーディオコネクター先端までを図示寸法に合わせて固定してください。

3. 電源ケーブル④のアースコードをステアリングコラム左前側まで配線します。

＜ステアリングコラム左前側＞

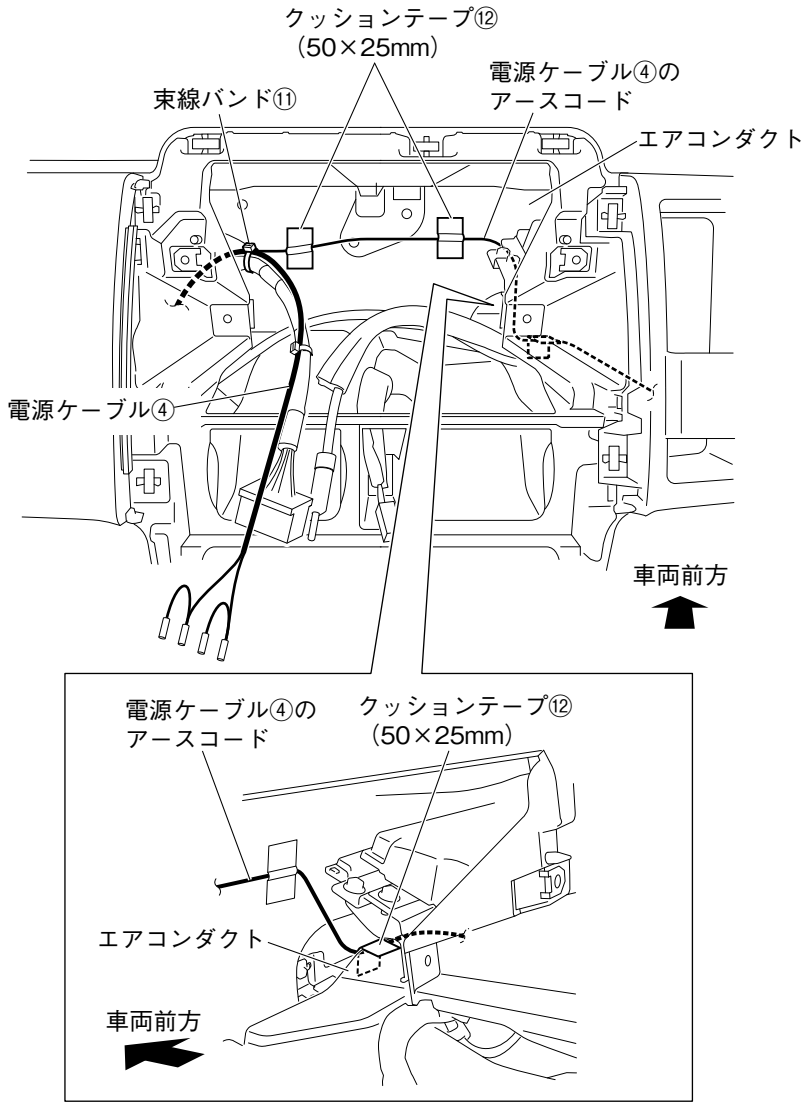


4. 電源ケーブル④のアースコードを図示位置のアースボルトまで配線し、共締めします。
   アースコードは、クッションテープ⑫と束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

注 記

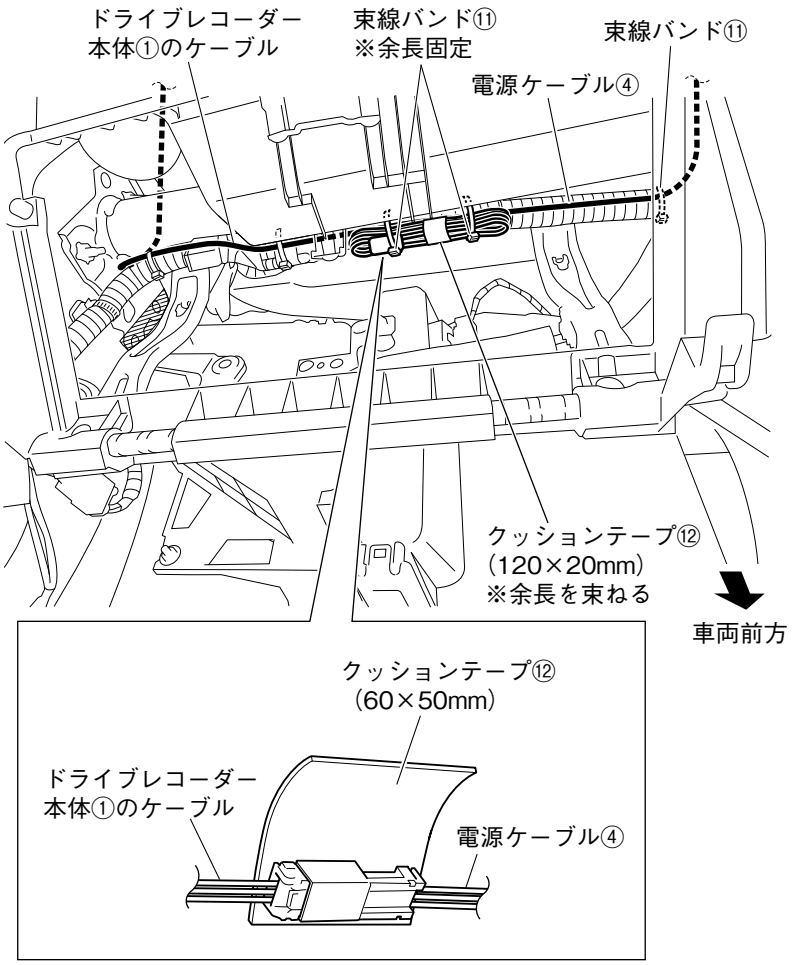
- **アース端子のエッジ部分が車両配線と干渉しない向きで固定してください。**
- **アース端子は他のアース端子とカシメ部が重ならないように取り付けてください。**
- **アースボルトは規定トルク値で締め付けてください。**
- **アースが確実に取れていることをテスターで確認してください。**

<オーディオ開口部>



5. アースコードは、クッションテープ⑫でエアコンダクトに固定します。
6. オーディオ開口部の電源ケーブル④を図のように束線バンド⑪で固定します。

<グローブボックス取付部>



7. 電源ケーブル④を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。
8. ドライブレコーダー本体①のケーブルと電源ケーブル④を接続します。
9. 接続したコネクター部にクッションテープ⑫を巻き付けます。
10. ドライブレコーダー本体①のケーブルと電源ケーブル④の余長をクッションテープ⑫で束ねた後、束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

注記

ケーブルの余長はグローブボックスと干渉しないように固定してください。

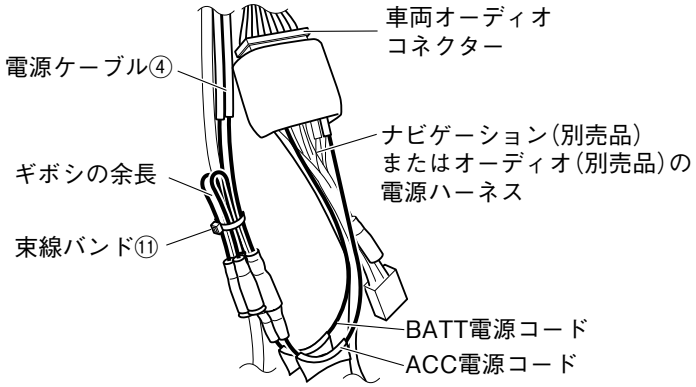
アドバイス

ドライブレコーダー本体①のケーブルと電源ケーブル④の余長は一緒に束ねて固定してください。

電源ケーブル ACC 電源、バッテリー電源の接続

アドバイス
電源ハーネスの形状により電源の取り出し要領が異なります。取り付ける車両に応じて接続をしてください。

●電源ハーネスにギボシ端子がある場合

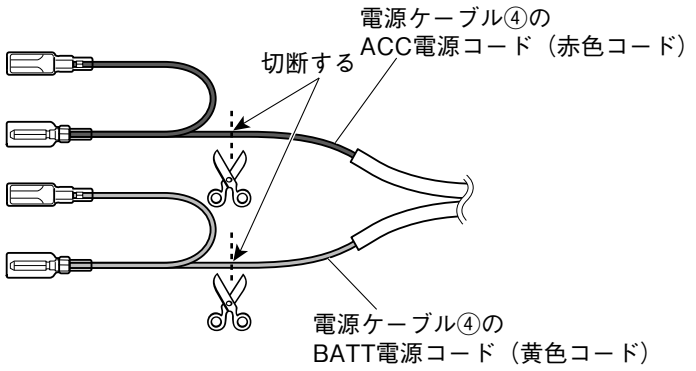


電源ケーブル④のギボシ端子をナビゲーション（別売品）またはオーディオ（別売品）の電源ハーネスに接続します。
ギボシ部の余長は、束線バンド⑪で束ねます。

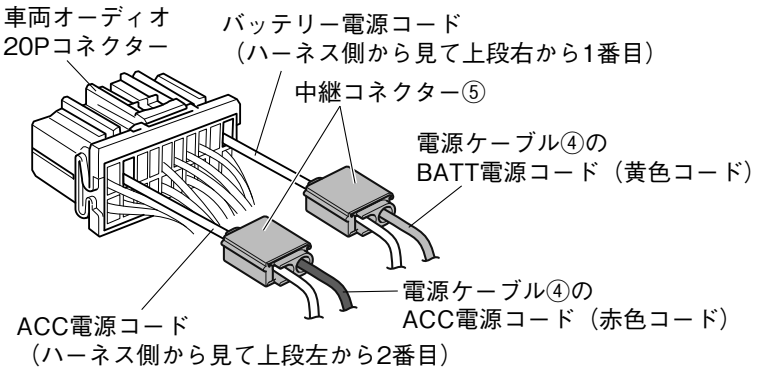
⚠警告
接続しないギボシ端子は、共通編の「結線図　■用品ナビ・オーディオと共着し、電源ハーネスに ACC/ バッテリー電源のギボシ端子がある場合」を参照して、必ず絶縁テープを巻き付けてください。

アドバイス
電源ケーブル④の接続は、共通編の「結線図」を参照して接続してください。

●電源ハーネスにギボシ端子がない場合



1. 電源ケーブル④のBATT電源コード（黄色コード）およびACC電源コード（赤色コード）先端のギボシ端子部を切断します。



2. 車両オーディオコネクター20P（水色）のバッテリー電源コードに電源ケーブル④のBATT電源コード（黄色コード）を中継コネクター⑤で接続します。
3. 車両オーディオコネクター20P（水色）のACC電源コードに電源ケーブル④のACC電源コード（赤色コード）を中継コネクター⑤で接続します。

アドバイス
中継コネクター⑤の接続方法は、共通編の「中継コネクターの使用方法」を参照してください。

■ 車両部品の復元

取り外しと逆の手順で取り付けます。

注 記

車両部品復元時に一時的に取り外した部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取り付け前の状態に戻してください。（コネクター類の接続・締め付けトルク等）

⚠警告

取り付け作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因になります。

注 記

オートライト機能装備車の場合は、オートライト未作動状態での点検を行ってください。